

第1回 中学校標準服（制服）のあり方に関する懇談会 結果概要

1 日 時 令和3年6月24日（木）15時から16時30分

2 場 所 松戸市教育委員会 5階会議室

3 出席者 保護者4名 小学校長1名 中学校長1名
中学校教諭2名 養護教諭2名

4 発言要旨

中学校標準服のあり方に関する検討を進めるにあたり、標準服（制服）の意義や現在の標準服（制服）の課題をテーマに、様々な観点からご意見をいただきました。

○必要性について

<保護者>

・昨年度、校内服での登校に慣れてしまい、「そもそも制服は必要なのか？」と思う、親も生徒も増えてきているかもしれない。一方で、しっかり制服を着て、登下校して、式典には出てほしいと思う人もいるはず。もし制服が変わっていくのであれば、良い機会なので、動きやすい、登下校しやすいものになってくれるとよいと思っている。個人的には制服はあったほうがよいとは思いますが、学校現場からは、市内の標準服を統一してもよいと思うという意見や標準服は必要ないという意見も出てくるようなので、そのあたりも検討してもらいたい。

<保護者>

・昨年は入学式の次の日から校内服登校になってしまい、保護者としては残念な気持ちであった。生徒自身にとっても中学生になったことの意識として、制服はあったほうが良いと思うが、標準服としての柔軟性は今後のためには必要だと思う。

<保護者>

・昨年度は、子どもが校内服登校だったため、朝は楽だった。いざ、制服での登校に戻ったときは、なかなかバッジ等の物が揃わなくて困った。その時に「なぜ、制服で登校しなければならないのか」ということを子どもと話していた。

<中学校教諭>

・今後、標準服がなくなっていくことも考えられる。

<中学校教諭>

・スカートに吊りがある学校にいくつか勤務した経験がある。吊りがなくても着用できてしまう中で、吊りをせず着用する生徒に、吊りをするよう指導している現状があるため、吊りはなくしてもよいのではないか。女子のブラウスにリボンをつける学校を経験したがリボンを失くす生徒が多かった。時代が進み、普通の着こなしと標準服の着こなしに差が出ている状況を感じる。

○価格について

<保護者>

- ・入学するときは4月までに10万近く負担した気がする。制服だけでなく、体操服等も含めたすべての値段なのだと思うが、制服だけでもなかなかの値段であると思うし、経済的に苦しいご家庭については、行政の対応として、一時的に立て替える等の対応ができるとよいのではないか。

<中学校教諭>

- ・標準服等にかかる費用については検討課題であることを今年度の校内での会議で確認したところである。

<保護者>

- ・同じ中学校の制服でもグレードがある。お店で購入するときに、高いものは劣化しないという説明を受けたが、今思うと、たくさん着るなら高いのでもよいけど、着ないのなら安いのを買ってよかったなど。そもそもグレードがあるということも課題かもしれない。

<小学校校長>

- ・1年に何回かの儀式的行事のために、高価な制服を着させる必要はあるのか、検討する必要性を感じる。

○性の多様性について

<中学校教諭>

- ・新型コロナウイルス感染症の対策として実施していた校内服（ジャージ・体操服）での登校を、標準服登校に戻す際に、ジャージ登校の申し出があった。

<養護教諭>

- ・女子生徒でセーラー服の着用には抵抗はあったが、登下校だけならば、ということで我慢して着用している状況があった。高校はズボンで通学できる学校に進学した。セーラー服も素敵だとは思いますが、こうした生徒への配慮については考えなければならない。

<養護教諭>

- ・自分の考えている性と異なるという生徒が不登校の状況であることや親には言えないという状況にあるという話は聞いたことがある。申し出があれば、学校で個別に対応することになるが、「言う、言わない」「誰に言う」「いつの時期に言う」ということは人それぞれ。中学生、高校生くらいであれば言いたいけれども言えないという生徒はいるはず。標準服は、誰でも理由を言わなくても選べるものがよいのではないか。言って理解してもらうことも大切だが、なかなかそこまでいけない生徒もいると思う。

<保護者>

- ・子どもの女友達に制服を着たくないという子がいて、スカートを履きたくない、水着にもなりたくないという子だった。当時は、ただ単純にスカートを履きたくなかったということだったことにあとで気づいた。小学校の服装は自由で、ズボンが好

きな子はズボンを履いている。中学校入学後にスカートを履かなければならないということに抵抗がある子もいる。ボーイッシュな面を周りの人が知っているのに、急にスカートをはくと、自分自身も気恥ずかしいし、周りにもからかわれるかもしれない。LGBTに関係なく、履きなれたものや自分の個性として、スカートを履きたくないという子もいる。

<保護者>

- ・LGBTのお子さんの話を聞くと、一概にこの制服がよいとはなかなか言えないが、システムとしてハッピーであることが大切だと思う。
- ・目立たない形で、本人の居心地の悪さを軽減させてあげられるシステムが良いと思う。ブレザーでスラックス、スカートでもよいという形が対応しやすいと思う。女子生徒が学ランでもよい、と言っても目立ってしまうと思う。例えば、冬場の寒い時期であっても、スラックスであれば、違和感がない。学校に相談の声が届いているのであれば、状況はそれぞれだとは思いますが、その子たちの声を聴いて反映させたほうがよい。

<中学校校長>

- ・女の子がズボンをはきたいという話はあったが、男の子がスカートをはきたいというのはハードルが高いと感じる。
- ・女の子は小学校時代にズボンを履いているので違和感はありませんが、もともと男の子は生まれたころから、スカートを履かない文化の中で育っている。生きづらさを感じながらも、隠れている場合があるのではないかと。

○着用場面や着用方法等について

<保護者>

- ・式典での着用は必要だと思うが、式典だけでなく、毎日着る必要もわかる。しかし、登校しても、すぐに部活で着替えるため、かばんの近くにそのまま置かれている状況であり、立派な値段をする割にぞんざいに扱われている気もする。いざ、式典で着用するときにはくちゃくちゃになっていることもあった。
- ・大きさの問題もある。ジャンパースカートだと、ふっくらした子はきつかったり体のラインがでてしまったりするので、抵抗がある。

<保護者>

- ・他県の出身で、小学校から制服があり、ずっと制服を着るのが普通だと思っていた。中学校も制服で登校して、1日制服で過ごして、体育の時に着替えるというのが普通だった。松戸市では、ジャージや体操服を下に着て行って、登校後に着替えるということに驚いた。そもそも標準服で登校して、校内服に着替えるということのどれだけ必要性があるのだろうか。1日制服でもよいのではないかと思う。

<保護者>

- ・テスト中は詰襟のホックはとめなきゃいけないのか。外してはだめなのか。だらしないということなのか。入試を意識するということがだが、実際のところ、下を向いていれば、わからないのではないかと思うので。

<小学校校長>

- ・中学校に勤務していた時代に、校内では制服で過ごし、必要な時にジャージ・体操服等に着替えるということに取り組んでみた。朝練からはじめるため、着替えの連続になり、子どもたちは面倒くさがっていた。教員側もその都度着替えの指導が必要となるため、なかなか難しかった。

○デザイン、サイズ等について

<保護者>

- ・着慣れたものや自分の個性として、スカートを着たくないという子もいる。サイズの問題もある。ジャンパースカートだと、ふっくらした子はきつかったり、体のラインがでてしまったりするので抵抗がある場合がある。
- ・兄の標準服をとっておいて、下の子にも着させる予定だった。下の子どもは体が小さいので、詰襟の最低のサイズが150で買わざるを得なかった。
- ・いずれ大きくなるから大きめを買おうとしたが、お父さんから借りてきた服のようで、サイズの問題への対応も考えていく必要がある。

<養護教諭>

- ・体が大きい子を持つ保護者は、中学進学後の詰襟は心配することがある。また、小学校の卒業式の服装のことを考えても、既製品で体に合うものがあるのか心配している。

<中学校校長>

- ・男子の学ランは変わっていないように見えるが、素材等が変わっている。昔はカラーとしてプラスチックのものを入れていたが、現在は白いラインがはじめから入っている。
- ・今の制服は丸洗いもできる。クリーニングに出さなくてもよい素材になっている。
- ・デザインだけが変わっていないのかもしれない。
- ・かつてはスカートのひだをつくるのが大変だった。今の物はしわにならない。素材の変化を感じる。

○選択肢について

<小学校校長>

- ・ジェンダーの問題や人権尊重といった、すべての問題に対応していくことを考えると、学校に相談して対策をしてもらうということは、子どもにとってハードルが高い。相談しないで済むような状況や選択肢をつくってあげることが大切なことだと思う。その選択肢がブレザーなのか、スカートとパンツを両方用意するのかということは、今後検討することなのだと思うが、現在の価格より安くなるのであれば、保護者の皆さんも納得するのではないかな。

○呼び方について

<保護者>

- ・「標準服」という表現になじみがないため、制服のことなのかわからない。多様性を考えているわりに、「標準服」という言葉にこだわっている印象を受ける。

<中学校教諭>

- ・学校で生徒に話をするときには「制服」と使っている。

<中学校教諭>

- ・文書や生徒手帳には「標準服」と記載している。

<中学校校長>

- ・「標準服」であると、着なくてもよいというやわらかいニュアンスも含まれる。「制服」という言葉が適切なのかもわからない。例えば「松戸フォーマル」のような表現でもよいのかもしれない。

○今後の検討の進め方について

<保護者>

- ・ニーズ調査の対象はどのように決めたのか。中学2年は昨年度着用していない生徒が多いと思うが。

→<事務局>

検討の段階で中学2年は標準服とは縁遠く、イメージがつかないのではという意見もあったが、来年度に最高学年になる現中学2年が後輩たちに残していくという思いを反映させたいことや、多くの学校で標準服登校が再開されている状況を踏まえて決めた。

<保護者>

- ・例えば、制服を皆ズボンにしてしまうと、スカートを履きたい女子もいると思う。少数派の気持ちを大切にすることも大事だが、多数派の気持ちも大事にしてほしい。